

お父さんへ

南区支部 池亀 恵子（子）

戦没者 池亀 重作

戦没地 ガダルカナル島

お父さんが戦地に発つ前に四歳の私に、陸軍と印刷された用箋に書いて下さった「遺書」が靖國神社の社頭に掲示されました。

「靖國神社デ祈ッテキマス」

陸軍少佐 池亀 重作命

昭和十七年十一月二十三日

ソロモン群島ガダルカナル島

九〇三高地付近にて戦死

新潟県西頸城郡磯部村出身 四十歳

父ヨリ

恵子ヨ、可愛イイ恵子ヨ。

父ハ惠子ガ早ク大キクナリ、立派ナ人ニナリ、御國ノタメニ働クコトヲ祈リマス。

母ノ教ヘヲ良ク守リ、誰ニモ負ケヌ様ニ、才勉強シナサヘ。

「努力ハ天才ニ優ル」ト言ウ事ヲ念ニ収メ、偉イ人ニナッテ母ニ孝行ヲシナクテハナリマセン。
父ハ東京ノ靖國神社デソレバカリ祈ッテキマス。

靖國神社事務所

〔平成二十一年十一月拝殿・社頭掲示〕

これと同様のものが「靖國」平成二十一年十一月一日発行第六五二号と「日本遺族通信」平成二十一年十一月十五日発行第七〇七号に掲載されました。

私は短歌を詠み、「日本遺族通信」平成二十二年一月十五日発行第七〇九号の九段短歌に掲載されました。

父の遺書 四歳我に 片仮名で 靖國社頭 掲示されたり

俳句も詠みました。

靖國に 掲示せる遺書 銀杏散る

また、遊戯館にお父さんの遺影が展示されています。

お父さんが戦死なさった時、お母さんは二十九歳、妹雅子は二歳、律子は生後十一ヶ月でした。お母さんはお父さんを尊敬しておりました。女手一つで三姉妹に高校教育を受けさせてくださいました。

昭和二十五年三月に、私が新潟大学付属高田小学校卒業と同時に、お父さんが建てられた家を売って、お母さんの生家の横浜の光源寺の隣に家を建てて引越して来ました。

昭和二十五年から毎年靖國神社の永代神樂祭に参拝しています。崇敬奉賛会、白鳩会等にも入っております。

お父さんが戦死なさったガダルカナル島へ、母は二回、私は一回、慰霊に行く機会に恵まれました。また私は毎年八月十五日に行なわれます「全国戦没者追悼式」に参列させていただいております。

私は婿養子を迎えて、「池亀家」を継いで、今では、一女二男の子供と孫六人です。

お母さんは、平成九年七月八日にお浄土へ往きました。享年八十三歳でした。三姉妹で一生懸命介護看病をさせていただきました。

来年は、お父さんの七十回忌法要を三姉妹夫婦に子供達夫婦と孫達一同でお務めさせていただきます。

私共三姉妹は、軍人のお父さんとお寺生まれのお母さんの子供であつたことを誇りに思いい心から感謝しております。お父さんとお母さんのお心を拠り所として、一日一日を丁寧に生かさせて

いただきます。

お父さん、どうぞ三姉妹を見守っていて下さる様お願いいたします。有難うございました。